



2020年11月9日

各位

会社名 株式会社ミズホメディー  
 代表者名 代表取締役会長兼社長 唐川 文成  
 (コード番号：4595 東証第二部)  
 問合せ先 取締役経理部長兼総務部担当 佐々木 寛  
 (電話番号：0942-85-0303)

### 通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年8月11日公表の「2020年12月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」におきまして、未定としておりました2020年12月期通期業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

##### (1) 2020年12月期 通期業績予想数値の修正 (2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2020年8月11日公表)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	4,254	235	234	165	17.41
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	6,427	1,111	1,111	874	91.80

##### (2) 修正の理由

2020年8月11日公表の同お知らせにおきまして、新型コロナウイルス感染症の終息時期が見通せないなか、外来患者の減少に伴う検査薬全般の需要回復のスピードが予測困難であること、インフルエンザ検査薬についても新型コロナウイルス感染症の動向やその対策が次シーズン(2020/2021)の流行や検査需要に与える影響を予測することが困難であること、また一方では8月19日より発売開始した「スマートジーン新型コロナウイルス検出試薬」の当事業年度の業績への影響の精査に時間を要するなど不確定要素が多く、合理的な算定が困難であるとして2020年12月期の通期業績予想につきましては未定としておりました。

第4四半期(10～12月)を予測する現段階においても、当面の新型コロナウイルス感染症の動向や対策などの外的要因によって当事業年度の業績が左右される可能性(期ずれなど)を排除できませんが、以下の前提条件をもって算定を行い、通期業績予想を公表することといたしました。

第4四半期のインフルエンザ検査薬につきましては、厚生労働省による医療機関へ向けた新型コロナウイルス感染症との同時流行に備えた体制整備の要請を考慮しつつ、現時点での流行の兆し等を勘案し、前年同期の30%程度の需要を予想しております。また、その他の感染症項目の検査薬につきましても、回復のスピードは引き続き緩やかと想定し、前年同期の50%程度の需要を予想しております。

一方、「スマートジーン新型コロナウイルス検出試薬」につきましては、「全自動遺伝子解析装置 Smart Gene」の現時点までの販売台数をベースとして、当面は月当たり約3万テスト程度の需要を見込んでおります。

2. 配当予想の修正について

(1) 2020年12月期配当予想の修正（2020年1月1日～2020年12月31日）

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2020年8月11日公表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回修正予想	—	6.00	6.00
当期実績	0.00	—	—
前期実績 (2019年12月期)	0.00	29.00	29.00

(2) 修正の理由

当社は、業績に対応した配当を行うことを基本としつつ、配当性向、企業体質の一層の強化及び今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案して決定する方針を採っております。この方針に基づき、配当性向30%を目標として配当を実施するよう努めております。

2020年12月期の期末配当予想につきましては、上記方針及び当事業年度の業績予想を踏まえ、1株当たり6円（配当性向34.5%）とさせていただくことといたしました。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる場合があります。

以上